

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年10月11日 (2012.10.11)

【公表番号】特表2012-510429(P2012-510429A)

【公表日】平成24年5月10日 (2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2011-525159(P2011-525159)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/675 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 16/00

C 0 7 K 14/705

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/675

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月23日 (2012.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インビボにおいて P D - 1 受容体のリガンドと結合し、P D - 1 受容体シグナル伝達を低減または阻害するのに有効な量の P D - 1 受容体アンタゴニストを含んでなる、組成物。

【請求項 2】

P D - 1 アンタゴニストが、B 7 - H 1 ポリペプチドと結合し、B 7 - H 1 ポリペプチドと、P D - 1 受容体との結合を阻害または低減する B 7 - D C ポリペプチドまたはその断片を含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記断片が、B 7 - H 1 と結合する B 7 - D C の細胞外ドメインもしくはその断片、または B 7 - D C と結合する B 7 - H 1 の細胞外ドメインもしくはその断片を含んでなる、

請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

P D - 1 アンタゴニストが融合タンパク質を含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記融合タンパク質が、P D - 1 受容体を介したシグナル伝達を誘発せずに P D - 1 受容体と結合する、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

P D - 1 受容体アンタゴニストが、B 7 - D C ポリペプチドと結合し、B 7 - D C ポリペプチドと、P D - 1 受容体との結合を阻害または低減する B 7 - H 1 ポリペプチドを含んでなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

P D - 1 受容体アンタゴニストが融合タンパク質を含んでなる、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

P D - 1 を介したシグナル伝達を誘発することなく、インビボにおいて P D - 1 と結合するのに有効な量のポリペプチドを含んでなる、組成物。

【請求項 9】

前記ポリペプチドが、シグナル伝達を誘発することなく P D - 1 と結合するように改変された B 7 - D C または B 7 - H 1 ポリペプチドを含んでなる、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記ポリペプチドが、そのポリペプチドが P D - 1 を介したシグナル伝達を誘発することなく P D - 1 と結合するように改変された B 7 - D C または B 7 - H 1 の変異体細胞外ドメインを含んでなる、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 11】

- a) 第一の融合相手と、
- b) 第二の融合相手と

を含んでなり、

第一の融合相手が、P D - 1 を介したシグナル伝達を誘発することなく P D - 1 と結合するように改変された P D - 1 のリガンドの変異体細胞外ドメインまたはその断片を含んでなり、かつ該第一の融合相手が第二の融合相手と直接融合されているか、または場合により、第二の融合相手と融合されているリンカー配列と融合されている、融合ポリペプチド。

【請求項 12】

第二の融合相手が I g 重鎖定常領域の 1 以上のドメインを含んでなる、請求項 11 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 13】

第二のポリペプチドがヒト免疫グロブリン C<sub>1</sub> 鎖のヒンジ、C<sub>H</sub> 2、および C<sub>H</sub> 3 領域に相当するアミノ酸配列を含んでなる、請求項 12 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 14】

第一のポリペプチドが、P D - 1 を介したシグナル伝達を誘発することなく P D - 1 と結合するように改変された B 7 - D C または B 7 - H 1 の細胞外ドメインを含んでなる、請求項 11 に記載の融合ポリペプチド。